

平成27年第1回定例会

一般質問通告書

流山市議会

平成27年第1回定例会一般質問通告順

日付	順番	議員名	会派名
2月24日	1	伊藤 實	誠和会
	2	青野 直	流政会
	3	中川 弘	誠和会
	4	加藤 啓子	
	5	根本 守	誠和会
2月25日	6	松田 浩三	誠和会
	7	酒井 睦夫	市民クラブ
	8	松尾 澄子	公明党
	9	宮田 一成	流政会
	10	藤井 俊行	市民クラブ
2月26日	11	西川 誠之	市民クラブ
	12	森 亮二	流政会
	13	楠山 栄子	市民クラブ
	14	植田 和子	日本共産党
	15	小田桐 仙	日本共産党
2月27日	16	徳増 記代子	日本共産党
	17	乾 紳一郎	日本共産党
	18	坂巻 忠志	流政会
	19	笠原 久恵	流政会
	20	松野 豊	

質問事項	要 旨
<p>1 井崎市長の政治姿勢について問う</p>	<p>(1) 過去の市政執行の中で市内全域を見たときに、地域間でバランスが取れず格差が生じているように思われるが、改善する考えはないのか。</p> <p>(2) 教育施策の中で、市内小中学校にエアコン設備を導入することを進めているが、それだけでは環境整備とはならない。次の施策は何か。</p> <p>(3) 学童クラブの運営について、平成 27 年 4 月に開設する予定の「おおたかの森小学校区学童クラブ」においては、入所希望者数がすでに定員を遥かに超えており、隣接の特別教室を使用するとの事だが、今後の対応について問う。</p> <p>(4) 急激な人口流入によるインフラ整備やそれに伴う財源確保、また、高齢化対策、子育て支援施策等、課題山積の中で、歴代市長が行わなかった長期政権を継続したいという理由は何か。</p>

質問事項	要 旨
1 教育行政について	<p>(1) 学校教育をはじめ、生きがいを育む生涯学習の推進、文化の継承と醸成、青少年の健全育成等についての基本方針を問う。</p>
2 自治会活動への支援について	<p>(1) 互助・共助の大切な組織である自治会への加入促進についての行政の支援について問う。</p> <p>(2) 防犯灯のLED化への一括整備と管理事業の見通しについて問う。</p> <p>(3) 自主防災の資機材整備をはじめ、防犯パトロール隊、空き巣365日ゼロ活動等を実施している自治会活動への支援について問う。</p> <p>(4) 地域支え合い事業は、支え合い活動対象者名簿の提供をはじめとして、少しずつ、できることを、できる範囲でとして自治会活動に期待しているが、自治会への支援について問う。</p>
3 公益社団法人流山市シルバー人材センターについて	<p>(1) 会員の就業機会の拡充を図るため、更なる事業開拓に向けた事務局体制の強化に対する支援について問う。</p>
4 南部地域の諸課題について	<p>(1) 都市計画道路3・3・2号新川南流山線と市道239号線に関しての地元建設委員会との課題解決策と、市道239号線における譲り合いスペース設置の見通しについて問う。</p> <p>(2) 流山本町観光案内サイン整備事業の進捗状況や駐車場確保に向けての取り組みと合せて、本町の更なる活性化策について問う。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 南部中学校の通学路の安全対策について問う</p>	<p>(1) 加交差点海老原商店西側から松戸野田線へ抜ける市道 41034 号線は、南部中学校生徒の多くが利用する通学路となっているが、その一方、加交差点がクランク状の変則交差点であることから抜け道と化しており交通事故発生を懸念する声が周辺住民よりあがっている。通学路の安全対策についての当局の認識と今後の対応について問う。</p> <p>ア 当該道路の状況をどのように把握しているのか。</p> <p>イ 当該道路における交通事故の発生状況はどうか。</p> <p>ウ 何らかの対策を実施すべきと思うが当局の見解はどうか。</p>
<p>2 学校敷地内の特別産業廃棄物保管について問う</p>	<p>(1) 東深井中学校敷地内に特別産業廃棄物である PCB 廃棄物の保管場所がある。PCB は人体にとって極めて有害な物質であり、いつまでも学校敷地内に保管するのは問題と考える。当市における PCB 廃棄物の保管状況と今後の対応について問う。</p> <p>ア PCB はどのような物質と認識しているのか。</p> <p>イ 当該の保管場所はいつからあり、具体的にどのような量の PCB がどのような形で保管されているのか。</p> <p>ウ 同様の保管場所は、この他にもあるのか。あるのであれば、それはどこか。</p> <p>エ 保管及び処分状況の届け出が義務付けられているが、届け出状況はどうなっているのか。</p> <p>オ 法令では平成 39 年 3 月 31 日までに処理することが義務付けられているが、PCB をいつまで保管しておくつもりなのか。</p>
<p>3 市民総合体育館の指定管理の現場の状況について問う</p>	<p>(1) NPO 法人流山市体育協会は市民総合体育館の指定管理者となっているが、現場の責任者に対する苦情が多く市民から長きにわたり寄せられている。再三にわたり指摘をしているが、一向に改善されない現状について問う。</p> <p>ア 指定管理者制度の目的は何か。</p> <p>イ 現在の市民総合体育館の状況はその目的に沿っていると認識しているのか。</p> <p>ウ 生涯学習センターと比較し、自主事業に極めて不熱心な印象を受けるが、当局の認識はどうか。</p> <p>エ 責任者の交代を発注者の立場から強く要求しないのはなぜか。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 流山市の子育て支援施策について</p>	<p>(1) 内閣府の少子化対策の中に子ども子育て支援新制度は位置づけられているが、流山市の子育て支援策の取り組み状況について問う。</p> <p>ア 子ども・子育て会議の設置によってできあがった、「子どもをみんなで育む計画」についてはどのような事業に力を入れて計画をしたのか。また、今後この計画の成果の検証はどのように行うつもりであるのか。</p> <p>イ 内閣府では、子どもを家族が育み、家族を地域社会が支えることの大切さについて理解を深めてもらうために、平成19年度から11月第3日曜日を「家族の日」、その前後各1週間を「家族の週間」と定め、この期間を中心として理解促進を図っているが、流山市での取り組み状況について問う。</p> <p>ウ 少子化対策の一端を担う、婚活事業は国でも推進しているが、流山市の取り組み状況について問う。</p> <p>エ 子どもが安心して外出できる環境の整備としての、「こども110番のおみせ」の周知について問う。</p>
<p>2 まちづくりにおける市民参加の方法について</p>	<p>(1) 流山市市民参加条例第6条に規定してある市民参加の手段方法のうち、「パブリックコメント」を選択することが多いが、十分な数の意見が出てきているとは言えない状況を当局はどのように考えているのか。</p> <p>(2) 藤沢市が取り組んでいる「電子市民会議」や千葉市が取り組んでいる「ツイッター版対話会」に加え、流山市議会の行っている「フェイスブック等による議案等に対する意見の収集」等への取り組みは、市民が市政に参加する際の意見の収集方法としては有効であると考えられるが、導入する予定はないのか。</p>
<p>3 流山市民総合体育館の建設及び運動公園再整備等について</p>	<p>(1) 新市民総合体育館の建設に際しての寄附の目標額は設定されているのか。また、少しでも多くの協力を得るためにどのような工夫がなされているのか。</p> <p>(2) 旧体育館の取り壊しの計画や公園再整備の計画予定についてはどのようなスケジュールになっているのか。また、市民から公園の再整備には市民の意見を反映してほしい旨の要望があるが、どのように市民参加を考えているのか。</p> <p>(3) サッカー場等を新川耕地に建設する予定ということであるが場所の選定はどのように決めていくのか。また、陸上競技場は県の柏の葉公園のグラウンドを使用することで対応するのか。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 字区域の名称について</p>	<p>(1) 字区域の名称は、その土地の歴史を表すものであることから、変更をする場合は慎重に行う必要があると考える。決定すべき事項について当局は、どのようなプロセスを経て決定していくのか問う。</p> <p>(2) 流山セントラルパーク駅周辺の字区域の名称決定スケジュールについて問う。</p> <p>(3) 現在、地域からはどのような意見があがっているのか問う。</p>
<p>2 地域の防犯対策について</p>	<p>(1) 警察官OBを常駐させる防犯ボックスの設置について問う。</p> <p>ア 千葉県が進めるコンビニエンスストアの駐車場に警察官OBを常駐させる「防犯ボックス」や、野田市で設置している「まめばん」のような交番機能を持つ施設を設置すべきであると考えるが当局の見解を問う。</p> <p>イ 高齢者が多く住む松ヶ丘地域にある、第一生命社宅跡地で現在、機動捜査隊がある空き地に防犯ボックスを設置することについて当局の見解を問う。</p> <p>(2) 防犯カメラの設置について問う。</p> <p>ア 犯罪抑止策として防犯カメラの設置が有効と考えるが、現在の設置状況及び、今後の設置について当局の見解を問う。</p> <p>イ 犯罪抑止のためには、流山警察署との連携が必要不可欠である。防犯カメラの設置について流山警察署との協議や相談を行っていると考えるが現状について問う。</p> <p>ウ 防犯カメラの設置について後期基本計画等への位置づけについて問う。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 流山市の環境施策について</p>	<p>(1) 流山市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例に資源物持去り行為を禁止する条例改正がなされ6年が経過した。そこで以下について当局の見解を問う。 ア 今日までの効果をどのように評価・検証しているのか。 イ 古紙相場が高騰し、再び資源物持去り事件が横行している。市としての対応策は講じているのか。 ウ 全地球測位システム(GPS)を駆使した持去り対策が注目されているが、本市ではこれをどのように評価しているのか。</p> <p>(2) 流山市におけるごみ処理有料化を含む総合的なごみ減量化・資源化施策の実施計画の中に、高齢者のごみ出し支援が盛り込まれていた。有料化が頓挫して立ち消えとなったが、高齢化が加速する中、最も求められている施策と考えるが市の見解を問う。</p>
<p>2 下水道施策について</p>	<p>(1) 台風等の際、江戸川左岸流域下水道の処理施設が機能停止し、市民に排水を控えるよう呼び掛けた経緯がある。現状と再発防止策等について市の見解を問う。</p>
<p>3 健康福祉施策について</p>	<p>(1) 高齢者の健康維持のため、以下について当局の認識を問う。 ア 高齢者の低栄養による影響について イ 高齢者の食生活に関する実態調査が必要ではないのか。 ウ 栄養指導や食生活のアドバイス等の取り組みはどのようにされているのか。</p> <p>(2) ヘルプカードの導入について市の見解を問う。</p>
<p>4 防犯施策について</p>	<p>(1) 特殊詐欺から市民を守る方策について当局に問う。 ア 市内での被害状況はどうか把握しているのか。 イ 被害防止策にどう取り組んでいるのか。</p>
<p>5 農商工連携施策について</p>	<p>(1) 越谷いちごタウンが開業から好評に推移していると仄聞している。流入人口の増加が期待できる効果的な事業であり、本市でも検討すべきと考えるが当局の見解を問う。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 市長の施政方針について</p>	<p>(1) 井崎市政12年間の総括について問う。 ア 成果と反省について イ 「多選」についてどのように考えているのか。 (2) 以下の事項についての市長の見解を問う。 ア 市民の多くは「将来の財政」に不安があると考えますが、「3年後の財政見通し」を公表する仕組みを検討してはどうか。 イ 「市民主権」の具現化として「住民投票条例」を策定してはどうか。 ウ 「無作為抽出」による各種協議会や審議会等の委員の選出方法を検討してはどうか。 エ 医療・介護のコスト抑制策は喫緊の課題となっているが、どう取り組むのか。</p>
<p>2 市制施行50周年記念事業について</p>	<p>(1) 本市は、2017年に市制施行50周年を迎えるが、「記念式典」「記念事業」の内容はどのように検討されるのか。また、市制施行100周年に向けた壮大なビジョンが期待されるがどう取り組むのか。</p>
<p>3 マイナンバー制度の導入について</p>	<p>(1) 平成27年末までに「個人番号」が通知され、申込みにより平成28年1月から「個人番号カード」が発行されるが、下記について問う。 ア 12桁の個人番号は、意味を持つ番号なのか。 イ 「住民基本台帳カード」は不要となるが、返却するのか。また、将来、運転免許証や保険証との一元化はあるのか。 ウ 常時携帯すべきものなのか。更新は義務化となるのか。万一紛失した場合はどのような「悪用」が考えられるのか。 (2) 「社会保障」「税」「災害対策」の分野で利用され、行政業務の合理化は理解できるが、市民から見てどのようなメリットがあるのか。以下について問う。 ア 「確定申告」をはじめ、申請手続きで簡素化されるものとしてどんなものがあるのか。 イ 自宅PCから税や保険料の支払い状況を閲覧できる「マイ・ポータル」を使ってどのようなサービスが提供されるのか。 ウ 「医療関係者」と「介護関係者」が共通番号で情報共有するシステム（「医療等ID」）を厚生労働省で研究しているが、マイナンバー制度とつながるのか。 (3) マイナンバー制度導入のコスト（初期費用及びランニングコスト）はいくらか。全額国庫負担か。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 流山市定員適正化計画について市長に問う</p>	<p>(1)現在の定員適正化計画は平成27年4月1日までとなっている。本市は人口が増加し行政需要も増加しているが、現計画をどのように総括しているのか問う。</p> <p>(2)平成27年4月2日以降の定員適正化計画の進捗状況について問う。併せて、人件費の抑制と行政サービスの向上という相反する課題をどのようにとらえているのか問う。</p> <p>(3)小さな組織で市民満足度の高い行政サービスの提供が求められていると思うが、おおたかの森出張所や訪問看護ステーションの現状をどのように認識しているのか問う。</p>
<p>2 公用車による交通事故について</p>	<p>(1)公用車による交通事故の専決処分が、議会に報告されるが、近年、増加しているのではないかと懸念している。そこで以下の点について問う。</p> <p>ア 過去5年間の事故発生件数、損害賠償額について</p> <p>イ 主な原因は何か。</p> <p>ウ 公用車の任意保険について</p> <p>エ 事故防止に向けた対策について</p>
<p>3 健康施策について</p>	<p>(1)健康づくり推進員について</p> <p>ア 平成26年第3回定例会での市長答弁を受けて今後どのように取り組んでいくのか問う。</p> <p>(2)乳幼児の命を守るため、B型肝炎ワクチンの助成事業を実施してはどうか問う。</p>
<p>4 高齢者支援について</p>	<p>(1)認知症による行方不明者の早期保護のため、防災行政無線を活用してはどうか。</p>
<p>5 交通安全対策について</p>	<p>(1)本市では、チャイルドシートの貸し出し事業を行っているが申し込みが多く、予約が出来ない状況と聞いている。現状について問う。</p> <p>(2)旧清美園に向かうこのす台の道路(市道269号線)の速度規制について問う。</p>

質問事項	要 旨
1 緊急時の対応について	<p>(1) 昨年、本市と輸送会社との間で、飲料水の緊急輸送に関する協定を締結したが、緊急時に実際に行動できるよう、有事の際の連携のために具体的にどのようなことを行っているのか問う。</p> <p>(2) これまでに協定を締結した団体・事業者などが実際に活動できるようにするため、訓練等を行うのが効果的と思うが、どのように考えているのか。また、その際の問題点をどのように認識しているのか問う。</p>
2 公共施設の維持管理について	<p>(1) 現在の修繕計画はどのようになっているのか問う。</p> <p>(2) 現在の修繕の短期的な優先順位はどのように考えて対応して来たのか。また、具体例のような修繕必要箇所の場合について問う。</p>
3 運動公園周辺地区区画整理事業の状況について	<p>(1) 現在の進捗状況について</p> <p>(2) 今後の見通しについて</p>
4 学校運営について	<p>(1) 児童・生徒数は、いつ頃まで推計しているのか問う。</p> <p>(2) 小規模な小学校について、統廃合を視野に入れて検討しているのか問う。</p> <p>(3) 大規模校と小規模校のメリット・デメリットをどのように認識しているのか問う。また、小規模校に対してできることは何か問う。</p>
5 道路側への占有や越境物等について	<p>(1) グリーンチェーン戦略で生垣への作り変えを推進しているが、生垣等の道路側への占有や越境物等の対応について法的な裏付けが必要ではないのか。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 子育て支援策について</p>	<p>(1) 私立保育所での障がい児の受け入れ体制について問う。</p> <p>(2) 学童クラブの待機児童の現状と今後の対応について問う。</p>
<p>2 都市計画道路3・5・22号線の安全対策について</p>	<p>(1) 開通後に一体的に安全対策をとっていくと過去に答弁があったが、信号機の設置や安全対策についてはどのように進捗しているのか問う。</p> <p>ア 以前から要望のある西初石2丁目バス停の北側の交差点に押しボタン信号を設置して欲しいとの要望に対する進捗について問う。</p> <p>イ 西初石1丁目バス停の南側の交差点に押しボタン信号が必要だと思うがどうか。</p> <p>ウ 西初石3丁目ファミリーマート前交差点の横断時の安全対策について問う。</p>
<p>3 ぐりーんバスのコース変更について</p>	<p>(1) コミュニティプラザから若葉台を經由して流山おおたかの森駅西口間のバス路線について、利用者の要望が高い初石駅を經由するように変更するべきではないのか。</p>
<p>4 害鳥対策について</p>	<p>(1) 北部地区の森の図書館付近はカラスが大量に生息している。近隣住民が恐怖を感じているという訴えがあるが、当局は把握しているのか。また、対応をどのように考えているのか問う。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 高齢者対策について</p>	<p>(1) 本市の高齢者就労支援に関して「シルバー人材センター」も重要な存在と思うが、その実態について問う。 ア 最近の活動状況や実績はどうか。 イ 千葉県内の他市との比較ではどうか。 ウ 執行部として現状についてどう分析し、その結果に満足しているのか、また問題点は何か。 エ 介護保険の総合事業への対応についてはどうか。 (2) 「ふれあいの家」について問う。 ア 市内 15カ所の「ふれあいの家」をどのように運営しているのか。 イ 執行部として現状についてどう分析し、その結果をどう評価しているのか。 ウ 今後どのように位置付けて、どのような活用を考えているのか。 エ 現状では市内 15カ所を開設しているが、高齢者の通える距離の観点からもっと利便性の向上を図るべきと考えるが、当局の見解を問う。</p>
<p>2 子ども達、特に小学校 4 年生以上の外遊びの場所の確保について</p>	<p>(1) 学童クラブを利用できない小学校 4 年生以上が、屋外で遊べる「外遊び」の場所の確保について以下のとおり問う。 ア 学童クラブに通う子供たちが外遊びで使用する校庭と、学校側で放課後に児童に開放する校庭の使い分けはどうか。 イ 市内には児童センターは 7カ所あるが、その場所で外遊びできる場所はあるのか。 ウ 小学校ごとに 4 年生以上の子どもたちが、放課後、校庭で安心して外遊びできる場所を確保することが必要と考えるが当局の見解を問う。</p>
<p>3 本市の教育について</p>	<p>(1) 本市の小中学校児童生徒の学力水準について問う。 ア 特に本市が実施している小学校スーパーバイザー・中学校英語 A L T の成果はどのような評価を得ているのか。 イ 市内にある大学に在学している留学生と小学生との交流活動について提言し、麗澤大学の留学生と向小金小学校の児童との交流会が実現できたが、その後の他校への展開も含めた経過と今後の展開について問う。</p>

質問事項	要 旨
1 選挙改革について	<p>(1) 昨今の選挙では低投票率化が課題の一つである。そのような中で充実強化された期日前投票は利用者が増加傾向にある。そこで今春の統一地方選挙の動向を調査した上で、投票日当日の時間変更を検討してはどうか。</p>
2 地域創生について	<p>(1) 市内には高齢化が進む地域が増えている。このような状況に対し、当局は現状分析や課題の整理を行い、傾向や対策を検討すべきだと思うが、当局の見解を問う。</p> <p>(2) 活力ある地域創生策の一つとして既成市街地における地区計画の見直しを俎上に載せてはどうか。</p>
3 地域主権改革について	<p>(1) 旅券発給（パスポート）事務の千葉県から県内市町村への権限移譲はどのような状況にあるのか問う。</p> <p>(2) NPO窓口業務の権限移譲への庁内の対応状況を問う。</p>
4 都市整備について	<p>(1) 流山おおたかの森駅西口ロータリーの整備計画について進捗状況を問う。また現状の暫定ロータリーについては不便さを指摘する声が多い。更なる安全対策の可能性について問う。</p> <p>(2) 初石駅東口開設に向けて庁内会議が行われたと仄聞している。その後の進捗と見通しについて問う。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 健康問題について</p>	<p>(1) 「他市では見られない」流山市のコミュニティスポーツ活動は地域の人々の健康、体力づくりに大きく貢献している。高齢化社会が進む中、さらなる拡大を願うが、その活動を5地区から8地区に拡充するという計画について、その現状と今後の対策について問う。</p> <p>(2) コミュニティスポーツリーダーの養成と若返りについて、その現状と今後の対策について問う。</p> <p>(3) 介護予防策としてのコミュニティスポーツについて、市の見解を問う。</p>
<p>2 在宅医療の支援に向けた情報連携システムの稼働について</p>	<p>(1) 全国的にも先進的な事例と仄聞するが、在宅医療支援システムを稼働するにおいて、現時点で期待される効果について問う。</p> <p>(2) セキュリティ対策について問う。</p> <p>(3) 活用する医師、看護師、ケアマネジャーなどの準備、その運営体制について問う。</p>

質 問 事 項	要 旨
<p>1 子ども・青年が夢と希望を持てる政治に関して</p>	<p>(1) 「平和都市宣言」にふさわしい流山市にすることについて</p> <p>(2) 自衛隊への「青年名簿」提供について</p> <p>(3) 奨学金制度の改善・拡充について</p> <p>(4) 江戸川台小学校のトイレ改修・校舎建替えについて</p>
<p>2 北部地域のまちづくりに関して</p>	<p>(1) 北部公民館の暖房設備について</p> <p>(2) 東深井福祉会館の身体障害者福祉センターの設備改善について</p> <p>(3) 江戸川台東 1 丁目の「老人いこいの家」跡地利用計画について</p>
<p>3 地域循環型経済への具体策について</p>	<p>(1) 企業誘致の目標と実績に関して</p> <p>(2) 商店街組織の現状について</p> <p>(3) 地域密着業者の魅力と行政の支援について</p>

質問事項	要 旨
<p>1 中部地域のまちづくりについて</p>	<p>(1) 初石駅東口開設に向けた取り組みについて</p> <p>(2) 都市計画道路 3・3・28 号中駒木線が県道豊四季高田原線まで開通することにもない、駒木交差点をはじめとした駒木地区の安全対策について</p> <p>(3) 東初石地域の浸水被害対策の取り組みについて</p> <p>(4) 『都市軸道路』東武線アンダーパス部分の建設がスタートしたことで、東初石でも西初石でも、既存道路が通行止めとなり、駅まで大きく迂回することとなる。工期が 2 年にも及ぶことや東武野田線の安全対策等を考慮すれば、駅まで最短距離で利用できる暫定通路を残しながらでも道路建設工事を行えるかと考えるがどうか。</p>
<p>2 子どもの福祉について</p>	<p>(1) 保育行政について</p> <p>ア 新年度の入園決定事務が進んでいる中で待機児童の状況はどうか。また入所申請件数に対する入所不承諾通知書の発行件数の状況、近隣自治体との比較で本市の対応は充分といえるのか。</p> <p>イ 子ども子育て新システムに伴う施設整備について</p> <p>(2) 子どもの甲状腺エコー検査への一部公費負担の取り組みについて</p> <p>ア 福島県内での最新状況をどう把握しているのか。</p> <p>イ 松戸市に続き、柏市でも実施されることとなったが、本当に本市では実施しなくて良いのか。</p>
<p>3 経済振興策について市長に問う</p>	<p>(1) 米価の下落が農家経営を深刻化させているが、市長としてどう認識し、今後どのような対策をとるのか。</p> <p>(2) 4 月から新たな食品機能性表示制度がスタートするが、市内農産物や市内事業者の生産加工品への付加価値を高める取り組みに活かせると考えるがどうか。</p>

質問事項	要 旨
1 生活保護について	<p>(1) 厚生労働省社会・援護局保護課（平成27年1月15日）による「住宅扶助基準及び冬季加算等の見直しについて」と「平成27年度生活扶助基準の改定の考え方」は、①住宅扶助の削減、②冬季加算削減、③生活扶助の3回目の引下げなど、憲法第25条の国民の生存権を脅かし、国の社会保障の義務に反するのではないのか。</p>
2 地域内交通問題について	<p>(1)「向小金・前ヶ崎地域移動実態調査結果報告書」（2012年9月）は「…道路が狭隘のことから、導入候補として挙がっていた路線バスや貸し切りバスによる運行は不可能」とあり、今後は「…路線バス及び貸し切りバス以外の方策による交通移動策を検討する」とある。交通移動策の検討内容と、その実施について問う。</p> <p>(2)南柏駅から流山セントラルパーク駅方面へのぐりーんバスの運行については、「いつまでも住みつづけられる地域づくり」を視点として、地域住民の意見を聞くべきではないのか。</p>
3 通学路の安全対策について	<p>(1)平成24年4月以降、全国で登下校中の児童生徒が死傷する事故が発生したことにより、国の要請で、流山市は同年7月に、各小学校の通学路の緊急合同点検を実施した。昨年3月、流山市通学路安全対策推進会議が設置され「流山市通学路交通安全対策プログラム」が策定された。その「プログラム」について問う。</p>

質問事項	要 旨
1 市長の政治姿勢を問う	<p>(1) ヒロシマ・ナガサキ被ばく 70 年の今年、国連で NPT 再検討会議が開かれるが、核兵器廃絶の声をどう広げていくのか。また、市内で市民によって守られてきた「原爆の火」を広く市民に知らせ、核兵器廃絶の誓いを新たにする取り組みを提案するがどうか。</p>
2 介護保険について	<p>(1) いよいよ 4 月から介護保険制度の改定が実施されるがその準備はどこまですすんでいるのか。</p> <p>ア 介護報酬の 2.27% の引き下げに対し「介護崩壊」を招くとの批判が大きい。とりわけ、-6% と削減幅が大きい特養ホームや小規模通所介護などで経営を圧迫し、事業からの撤退、職員の離職など深刻な事態を招くことにならないのか。</p> <p>イ 要支援の保険外しである新総合事業の、単価をどのように決めるのか。また、重要な役割を担わされる地域包括支援センターとの話し合いはどこまですすんでいるのか。</p> <p>(2) 平成 26 年度からスタートした医療・介護連携モデル事業の現状と新年度における取り組みについて</p>
3 救急医療について	<p>(1) 昨年の 6 月議会で、流山市における救急医療への予算措置が近隣各市に比べ、著しく低い水準であると指摘し、増額を図るべきと指摘したが、医師会との話し合いは行われているのか。また、どう予算を確保していくのか。</p>
4 南部地域のまちづくりについて	<p>(1) 都市軸道路・江戸川新橋建設事業の現状について</p> <p>(2) 都市計画道路 3・3・2 号線流鉄高架事業にともなう市道 239 号線遮断、および踏切閉鎖問題について</p>

質問事項	要 旨
<p>1 市職員の人材育成について</p>	<p>(1) 市職員の人材育成の現状と今後の取り組みについて以下問う。</p> <p>ア 市民サービスの向上には、優れた人材が欠かせない。これまで人材育成にどのように取り組まれてきたのか。</p> <p>イ 次期市長選挙に立候補を表明された今、今後どのように取り組んでいこうとしているのか。</p>
<p>2 交通安全対策について</p>	<p>(1) 都市計画道路3・5・22号東深井市野谷線における江戸川台西一丁目地先から市道118号線(南・東深井1号幹線)の東深井中学校入り口交差点までの安全対策について</p>
<p>3 踏切の安全対策について</p>	<p>(1) 東武鉄道(路線名アーバン・パークライン)の194号踏切の拡幅を含めた安全対策について問う。</p>
<p>4 流山市北部地域の街づくりについて</p>	<p>(1) 東深井、西深井地域の下水道整備について問う。</p> <p>ア 東深井、西深井及び美原から東深井地域の整備状況の差、また、今後の見通しについて</p> <p>(2) 利根運河を観光資源とした活用方策について問う。</p> <p>ア 運河駅自由通路東側の三角スペース活用について</p> <p>イ 交流人口を増やすための取り組みについて</p>

質問事項	要 旨
<p>1 流山市の介護関連の諸問題について</p>	<p>(1) 制度改正への対応について ア 本年8月から介護サービス自己負担割合が変更となるが対象者への対応について問う。 イ 本年4月以降、要支援の人の訪問介護サービス体制の変更によってサービス提供体制はどのようになるのか。</p> <p>(2) 特別養護老人ホームについて ア 特別養護老人ホームでは低所得者を対象とした室料や食費の補足給付の変更についてどのように対象者を特定するかについて問う。</p> <p>(3) 介護現場の諸問題について ア 平成25、26年度の地域ケア会議の開催数、検討課題、構成員について問う。 イ 平成25年度から始まった定期巡回・随時対応型訪問介護看護の現状と課題について問う。 ウ 在宅医療ニーズを抱えた人を支える訪問介護ステーションの実態と、東葛地区における大規模型訪問看護ステーションの現状について問う。 エ 若年世帯から高齢者世帯まで様々な「患者家族」の負担軽減を図るため、専門知識を有する介護職員、ケアマネジャーの養成について問う。</p> <p>(4) 認知症に係る施策について ア 先般国が公表した新オレンジプランで示された国家戦略7つの柱と本市における認知症対策との整合性を問う。また、認知症を抱える人を支える地域の対応力の向上を図るための地域づくりについて問う。</p>
<p>2 八木幼稚園前の悪路の補修について</p>	<p>(1) 八木幼稚園前の道路は雨などで悪路となり、幼稚園に通う園児と保護者の危険となっている。この道路の補修について問う。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 オープンガバメントについて</p>	<p>(1) 当市がオープンガバメントに取り組む目的は市政の見える化によって、市民参加と協働が促進され、その結果、ICTも有効に活用しながら、市民の声を集めて、より民意が反映された市政を実現することである。これは当市が、これまでに取り組んできた自治体におけるマーケティング活動にも通じるものである。</p> <p>ア 安倍内閣が、平成25年6月14日に閣議決定した世界最先端IT国家創造宣言の中にもオープンデータの活用の推進が謳われているが、このことについてどのように捉えているのか。</p> <p>イ 当市は鯖江市・会津若松市に次いで全国では3番目（平成24年10月1日から）にオープンデータに取り組んでいる。これまでと、これからの当市の現状と課題は何か。</p> <p>ウ オープンガバメントの三原則（透明・参加・協働）については、今後どのようなステップを踏みながら、持続継続していくのか。</p> <p>エ 行政や議会と市民が、それぞれの立ち位置を尊重しつつ、互いに対話をする機会を増やし、行政課題と、その解決策を一緒に考えていくことこそ、これからの民主主義国家における合意形成過程のあるべき姿であると考えるが、執行部の見解を問う。</p> <p>オ 攻めのマーケティング（プロモーションや各種イベントの企画開催）だけでなく、守りのマーケティング（データサイエンスやアクセス解析やニーズ動向調査など）については、今後どのように取り組んでいくのか。</p>
<p>2 教育行政について</p>	<p>(1) 子供たちの教育にとって最も大事なことはテクニックやスキルを身につけることよりも人格の形成であると考え。つまり、修養や倫理道徳に留まらず、セルフマネジメントやリーダーシップにまで及ぶ。原点に立ち返って、個人主義よりも人格主義を重視した教育プログラムへの移行が至上命題であると考え。そこで、市内小中学校のリーダーシップ教育の実情と課題について問う。</p> <p>(2) 本年4月から教育委員会制度が変わり首長の権限が従前よりも強くなるが見解について市長に問う。</p> <p>(3) 総合教育会議のガバナンスについて教育長に問う。</p>